

テスト設計コンテスト U-30クラス – アピールシート

チームID	S250707001	チーム名	雪海桃山
-------	------------	------	------

チームの紹介

この項目ではチームやメンバーの紹介、チーム全体の基本コンセプトを記述します。

チーム紹介

チーム名が変わりましたが昨年も同じメンバーで参加しました。
「右も左も分からなかった昨年よりはマシなものを出そう！」を目標に進めました。

全体のコンセプト

- ①テスト対象分析でテスト対象に対してできるだけ多くの切り口から発散させていく
- ②プロジェクト要求補足書及びテスト対象分析からテスト要求を導出しそれに基づいたテスト設計を行う

チームのテスト設計の強み・アピールポイント

テストベースに記載されている内容だけでなく、様々な切り口からテスト対象の分析を行っている点です。

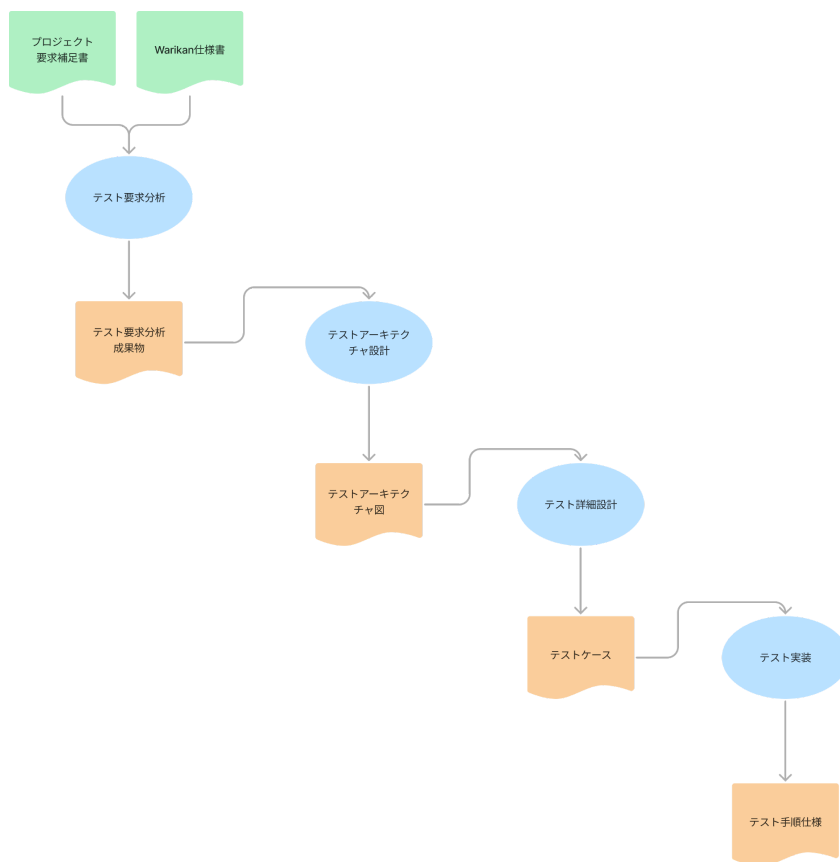
※ 全体でA4縦4ページに収まるように記述してください。

チームの戦略・方針

この項目では、チームの作業の進め方や成果物の特徴を、設問に従って記述します。他文書（審査対象の成果物など）への参照で記述しても構いません。

プロセスの説明

チームのテスト設計のプロセス(テスト要求分析・テスト詳細設計といったアクティビティと、テストケースといった成果物の関連性)の全体像を、モデル(PFDやアクティビティ図など)や文章で示してください



テストベースからテストケースやテスト手順までのトレーサビリティをどのように確保しているか説明してください

テストベースを分析した内容からIDを振り、次の生成物を作成する際に元とした生成物を明示するようにした。

※ 全体でA4縦4ページに収まるように記述してください。

テストの構造の説明

採用したテストアーキテクチャが一般的なものより優れているポイントを記述してください

テスト要求を元に不要なテストを省き、より優先度の高いテストから実施するようになっている点

テストベースに対する網羅性の確保(目的を満たすようにテストベースを網羅する)で、どのような工夫をしたか記述してください

テストベースを様々な視点から分析しました。

テストベースに対するピンポイント性の確保(無駄なテストを作らない)で、どのような工夫をしたか記述してください

テスト対象分析ではできるだけ発散させる形で資料を作成しつつ、テスト要求を元に必要なテストのみに絞っていった

※ 全体でA4縦4ページに収まるように記述してください。

活用した技法や手法の説明

以下のテスト設計技法のうち、今回使用したものを選択してください(記述内容のうち、使用した技法を残し、使用していないものを削除してください。各定義はJSTQBに従います)

テスト対象分析において、状態遷移テスト、ユースケーステスト、ユーザストーリーテストの考え方でテスト対象について分析を行いました。

テスト設計についての既存の方法論(HAYST法、VSTeP、ゆもつよメソッドなど)や体系(ISO29119、STEPなど)で、今回使用したものがあれば記述してください

テストアーキテクチャの記述において、VSTeP/NGTの記法を参考にしました。